

# 代表質問

主な質問と答弁

## 放課後児童クラブ

### 要支援児童の受け入れ体制を充実 施設面の整備等に取り組む

(民主クラブ)

**質問** 放課後児童クラブにおける質の確保についての今後の取り組みと、要支援児童の受け入れ試行に対する総括及び今後の展開について聞きたい。

人材育成を図っている。要支援児童の受け入れについては、平成27年4月から身体に障がいのある児童の受け入れを試行的に行っている。総括としては、施設面のバリアフリーが条件

となるが、介助員の確保、学校との連携、保護者や児童同士の関係づくりを築くことで、児童クラブでの生活が可能であることが確認された。また、発達障がい児への対応については、現在も多くのクラブにおいて要支援児童の受け入れを行っている。また、大規模クラブにおいてベテラン指導員が他の指導員を育てる環境をつくるなどの



放課後児童クラブの質の確保及び向上に努める

**質問** 質の確保の取り組みとして、各クラブの指導員は都道府県が行う認定資格研修を順次受講しているほか、みらい創造財団による研修受講後に、各クラブにおいて研修内容を共有し、クラブ全体の質の確保及び向上に努めている。また、大規模クラブにおいてベテラン指導員が他の指導員を育てる環境をつくるなどの

## 定期点検等を実施 都市基盤の老朽化対策 長寿命化計画を進める

(藤沢市公明党)

**質問** 橋梁やトンネルなどの都市基盤の維持管理については、国の方針変更等の環境変化に応じて老朽化対策を行ってきたが、これまでの取り組みや今後の管理方針について聞きたい。

**答弁** 橋梁の老朽化対策については、平成21年度から

市内の主要な100橋を対象とした橋梁点検を行い、24年度に第1期橋りょう長寿命化修繕計画を策定した。この計画に基づき、これまでに塗装の塗りかえやコンクリートのひび割れ補修を実施している。25年度から26年度は100橋から253橋を対象を拡大して2回目の定期点検を開始しており、29年度に完了する予定である。29年度にはその結果を反映した第2期長寿命化修繕計画を策定し、橋梁の長寿命化対策を進めていく。

市内の主要な100橋を対象とした橋梁点検を行い、24年度に第1期橋りょう長寿命化修繕計画を策定した。この計画に基づき、これまでに塗装の塗りかえやコンクリートのひび割れ補修を実施している。25年度から26年度は100橋から253橋を対象を拡大して2回目の定期点検を開始しており、29年度に完了する予定である。29年度にはその結果を反映した第2期長寿命化修繕計画を策定し、橋梁の長寿命化対策を進めていく。

**質問** 橋梁やトンネルなどの都市基盤の維持管理については、国の方針変更等の環境変化に応じて老朽化対策を行ってきたが、これまでの取り組みや今後の管理方針について聞きたい。

**答弁** 橋梁の老朽化対策については、平成21年度から

市内の主要な100橋を対象とした橋梁点検を行い、24年度に第1期橋りょう長寿命化修繕計画を策定した。この計画に基づき、これまでに塗装の塗りかえやコンクリートのひび割れ補修を実施している。25年度から26年度は100橋から253橋を対象を拡大して2回目の定期点検を開始しており、29年度に完了する予定である。29年度にはその結果を反映した第2期長寿命化修繕計画を策定し、橋梁の長寿命化対策を進めていく。

市内の主要な100橋を対象とした橋梁点検を行い、24年度に第1期橋りょう長寿命化修繕計画を策定した。この計画に基づき、これまでに塗装の塗りかえやコンクリートのひび割れ補修を実施している。25年度から26年度は100橋から253橋を対象を拡大して2回目の定期点検を開始しており、29年度に完了する予定である。29年度にはその結果を反映した第2期長寿命化修繕計画を策定し、橋梁の長寿命化対策を進めていく。

**質問** 待機児童の解消が求められる。急激に保育所が増加する中で、公立保育所に加えては、保育の質の確保や子育て支援機関としての機能が必要と考えるが、課題や今後の取り組みの方向性について聞きたい。

**答弁** 公立保育所は、これまで各園がそれぞれ特色を生かした保育や工夫を凝らした子育て支援、世代間

市内の主要な100橋を対象とした橋梁点検を行い、24年度に第1期橋りょう長寿命化修繕計画を策定した。この計画に基づき、これまでに塗装の塗りかえやコンクリートのひび割れ補修を実施している。25年度から26年度は100橋から253橋を対象を拡大して2回目の定期点検を開始しており、29年度に完了する予定である。29年度にはその結果を反映した第2期長寿命化修繕計画を策定し、橋梁の長寿命化対策を進めていく。

市内の主要な100橋を対象とした橋梁点検を行い、24年度に第1期橋りょう長寿命化修繕計画を策定した。この計画に基づき、これまでに塗装の塗りかえやコンクリートのひび割れ補修を実施している。25年度から26年度は100橋から253橋を対象を拡大して2回目の定期点検を開始しており、29年度に完了する予定である。29年度にはその結果を反映した第2期長寿命化修繕計画を策定し、橋梁の長寿命化対策を進めていく。

**質問** 本市の農業は、都市近郊という立地条件のもと、露地野菜、施設野菜、花卉

また、農業委員会制度の改正により、農業委員会の役割が農地等の利用の最適

市内の主要な100橋を対象とした橋梁点検を行い、24年度に第1期橋りょう長寿命化修繕計画を策定した。この計画に基づき、これまでに塗装の塗りかえやコンクリートのひび割れ補修を実施している。25年度から26年度は100橋から253橋を対象を拡大して2回目の定期点検を開始しており、29年度に完了する予定である。29年度にはその結果を反映した第2期長寿命化修繕計画を策定し、橋梁の長寿命化対策を進めていく。

また、農業委員会制度の改正により、農業委員会の役割が農地等の利用の最適

農業の安定的な継続と良好な都市環境の形成を目指す



今後の取り組みについては、29年度からベドストリアンデッキのリニューアル工事に着手するとともに、引き続き南北自由通路拡幅整備や駅南側のまちづくりに向け、鉄道事業者などの関係事業者と検討及び協議を行う。さらに、整備後の町のにぎわいや魅力づくり、質の高い維持管理等に向け、官民連携によるエリアマネ

ジメントの導入などを目標とする。ホテル誘致は、将来的に不足する懸念から整備が求められる。多目的ホールの設置などを条件とした容積率緩和と制度の導入を検討する。再整備事業の推進と合わせてさまざまな施策との連携を図り、本市都心部にふさわしい拠点形成を目指し、市民が誇れるまちづくりを進めていく。

**外国人観光誘客受け入れ環境を整備** (ふじさわ新政策)

**質問** オリピックを契機とした本市と他国の競技団体とのパートナーシップ構築において、架け橋となる市民等との関係づくりについての考え方を聞きたい。

**答弁** オリピックにおける市民との協力関係づくりについては、既に諸外国との関係を築かれている方の

**質問** 事故後の取り組みについては、事故直後に教育委員会として緩衝材及び土のの配付、防球ネットの使用方法についての注意喚起等、再発防止策を講じる

今後子どもたちの安全を第一に考え、防球ネットの使用については、当面は土のう等で一時的に固定すること、強風時は使用しない

との新たな協力関係を構築し、マルチパートナーシップの推進を図っていく。

本市の外国人観光誘客については、訪日外客数が増加しているアジア諸国を中心に積極的に進めてきた。今後は東京オリンピック等により増加が見込まれる欧米に向けた観光誘客も、積極的に進める必要がある。2020年以降に向けた観光振興については、外国人観光客が快適に過ごすことができるよう、観光案内所の機能強化、多言語化の整備促進、外国語ボランティアガイドの育成及び公衆トイレの整備などの受け入れ環境の整備を図るとともに、近隣市町や鉄道会社等との連携をさらに深めることで、積極的な外国人観光誘客に努めていく。



多言語観光ウェブサイト「Discover FUJISAWA」

この新たな協力関係を構築し、マルチパートナーシップの推進を図っていく。

**学校事故の再発防止適切な予防措置を** (市民クラブ)

全般的について啓発してきたが、時間の経過とともに認識が次第に薄れてきていると捉えている。現在は、事故防止啓発資料のヒヤリハットレポート等を作成、配付し、防球ネットの事故にかかわらず、各学校における事故防止研修会で取り扱うなどの予防措置を講じている。